

# 第二十六回一茶ゆかりの里俳句大会 入賞句

応募数 一六八名 五〇四句

一茶ゆかりの里大賞	野鳥追ふ連写の音や風光る	小布施町	栗原ヒサエ
長野県教育委員会賞	青空を引きずり込んで瀧落ちる	高山村	勝山 栄泉
高山村教育委員会賞	八月を何も語らず父逝けり	高山村	佐藤 喜代美
長野県俳人協会賞	牧の牛柵に背を摺る夏の果	諏訪市	岩波 輝征
須高俳句連盟賞	みみず鳴く納屋に使わぬ農耕具	茨城県	舘 健一郎
信濃毎日新聞社賞	ポケットの鏝の温もり花の夜	千葉県	若林 佐嗣
須坂新聞社賞	味噌蔵の土間の湿りやちろろ鳴く	愛知県	田上 義則
高山村文化協会賞	秋しぐれ新村名の道標	千葉県	若林 佐嗣
信州高山村観光協会賞	送り火や燐寸擦る子の背の高き	須坂市	深海 龍夫
高山村公民館賞	大漁旗掲げて蟻の凱旋す	東京都	橋本 世紀男
高山俳壇賞	遠泳のひとりが島の陰に入る	長野市	玉井 玲子
高山俳壇賞	一枚の空千枚の植田風	群馬県	川野 忠夫
高山俳壇賞	蓮にきて大きな風となりにけり	群馬県	川野 忠夫
高山俳壇賞	空の色山の色澄み一茶の忌	千曲市	杵渕 晴子
高山俳壇賞	眠る子を胸に日傘の若き母	奈良県	松尾 清朝
高山俳壇賞	全身に浴ぶ故郷の蝉時雨	高山村	藤沢 つよし
高山俳壇賞	信州の遅き目覚めや木の根開く	大阪府	濱田 昭
高山俳壇賞	敗戦日机に眠る肥後守	長野市	小林 まこと

令和四年十月二十三日